

インターネット関連の課題と組織運営や事業課題等に関する 予備調査結果報告

2023年5月

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター（JPNIC）
会員サブワーキンググループ

予備調査へのご協力ありがとうございました

- ・ **今回の予備調査について**

- ・ **目的：**

1. JPNICを構成する組織・人が、協力してインターネット関連の課題解決に向かえるよう、課題と組織運営・事業課題について、調査し、整理する
2. その上で「JPNICの理念」の実現に向け、JPNICはコミュニケーションを強化し、さまざまな施策に取り組んでいく

- ・ **対象者：**JPNIC正会員（134会員）・賛助会員（40会員）

- ・ **回答期間：**2023年2月14日～4月10日（約2か月間）

- ・ **回答数：**82件（47.1%、推薦個人正会員を除くと56.1%）

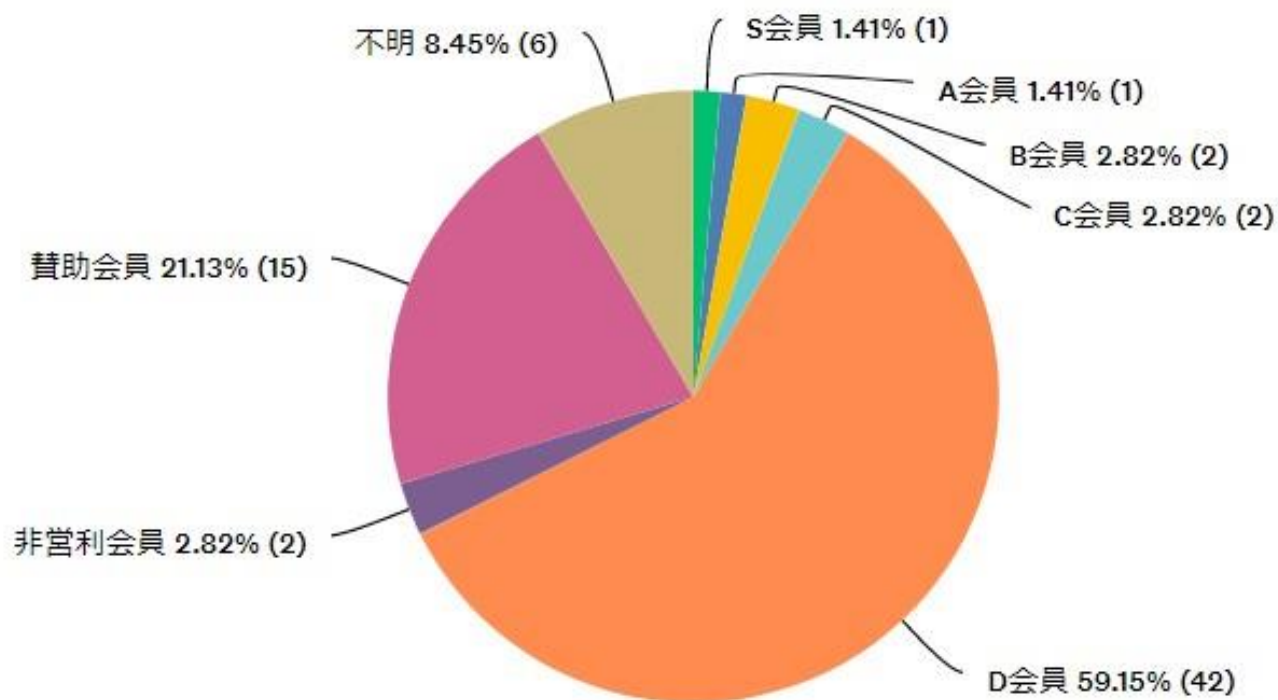
- ・ **本件に関する問い合わせ先：**member-com@nic.ad.jp

- ・ **この結果報告では、統計的な結果を示します**

ご回答いただきました会員の皆さまにつきまして

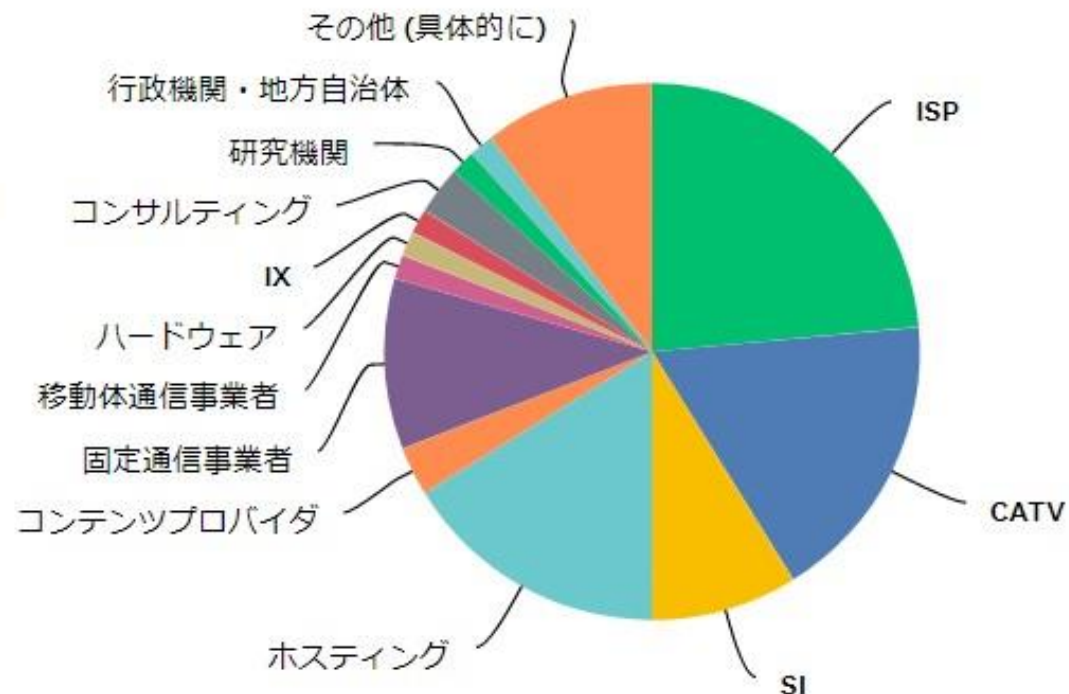
・ 会員種別

回答数： 71 スキップ数： 11

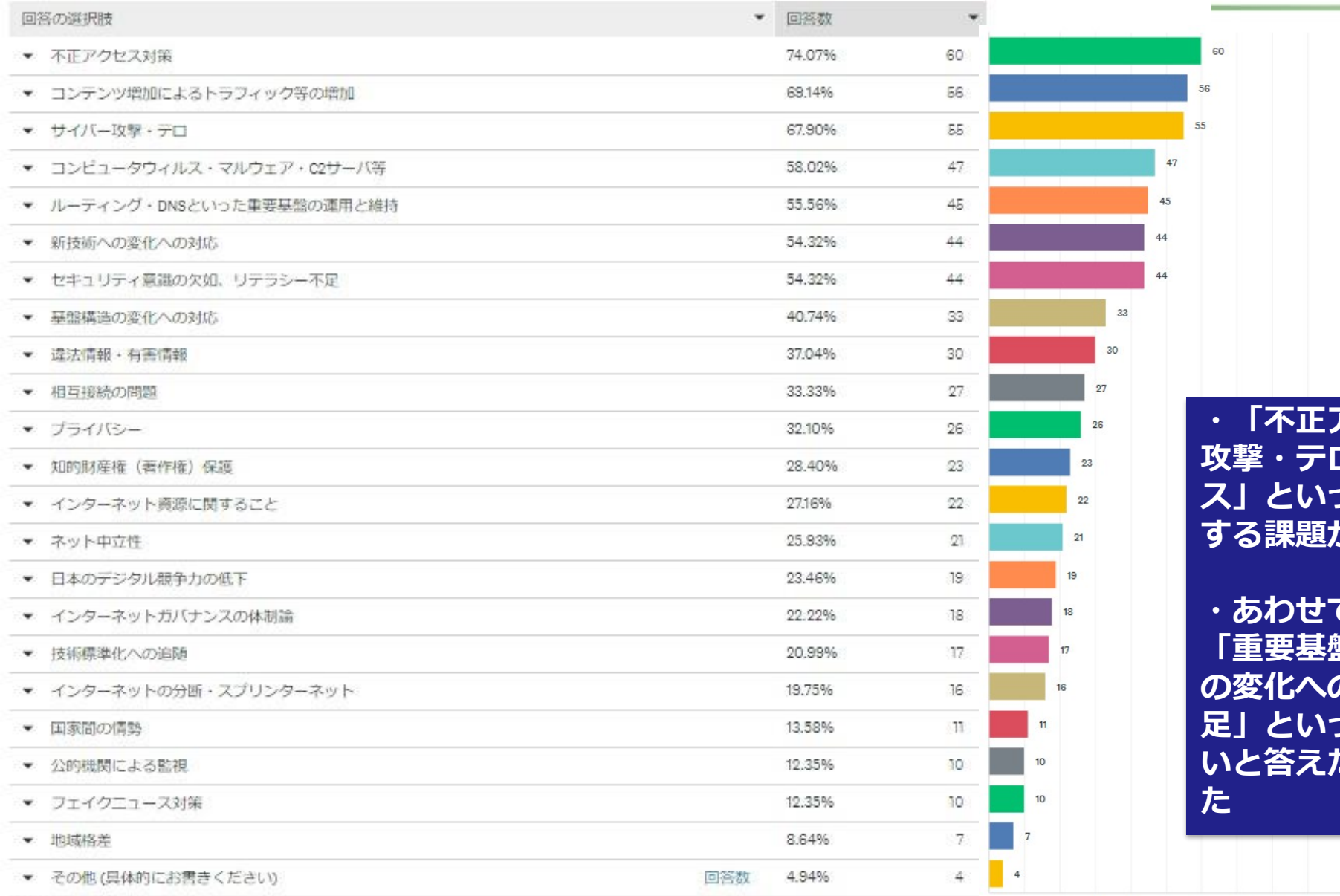


・ 主な業種

数： 68 スキップ数： 14



Q1：インターネットに関連する課題で、組織の運営と事業遂行に影響し解決すべき事項（複数選択可）

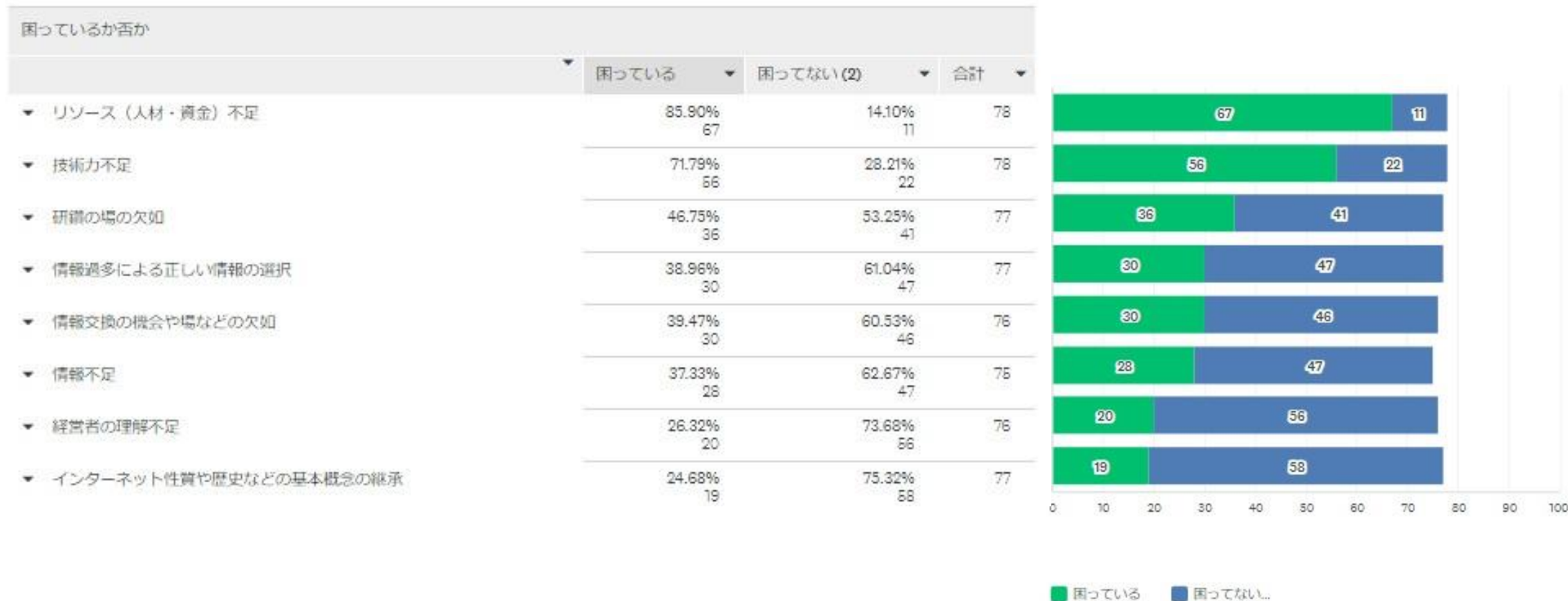


キップ数: 1

・「不正アクセス対策」「サイバー攻撃・テロ」「コンピュータウイルス」といったセキュリティ対策に関する課題が上位を占めました

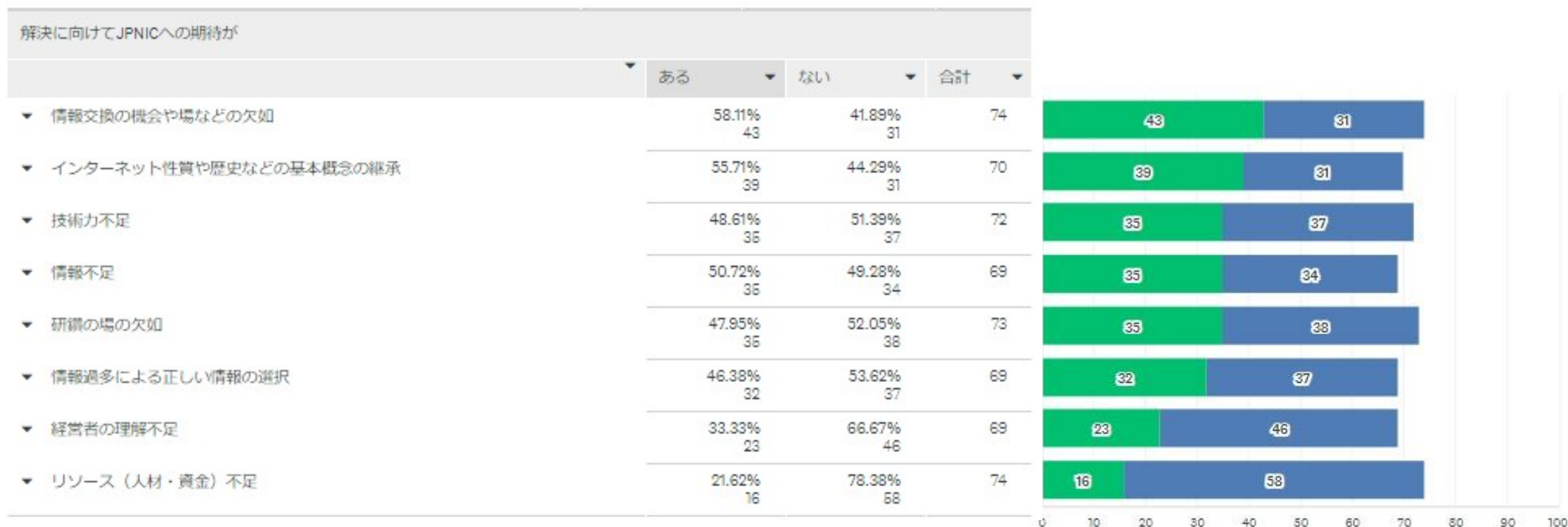
・あわせて「トラフィックの増加」「重要基盤の維持運用」「新技術への変化への対応」「リテラシー不足」といった課題も影響度合いが高いと答えた回答数が多く見られました

Q3：組織内で困っていること（1/2）



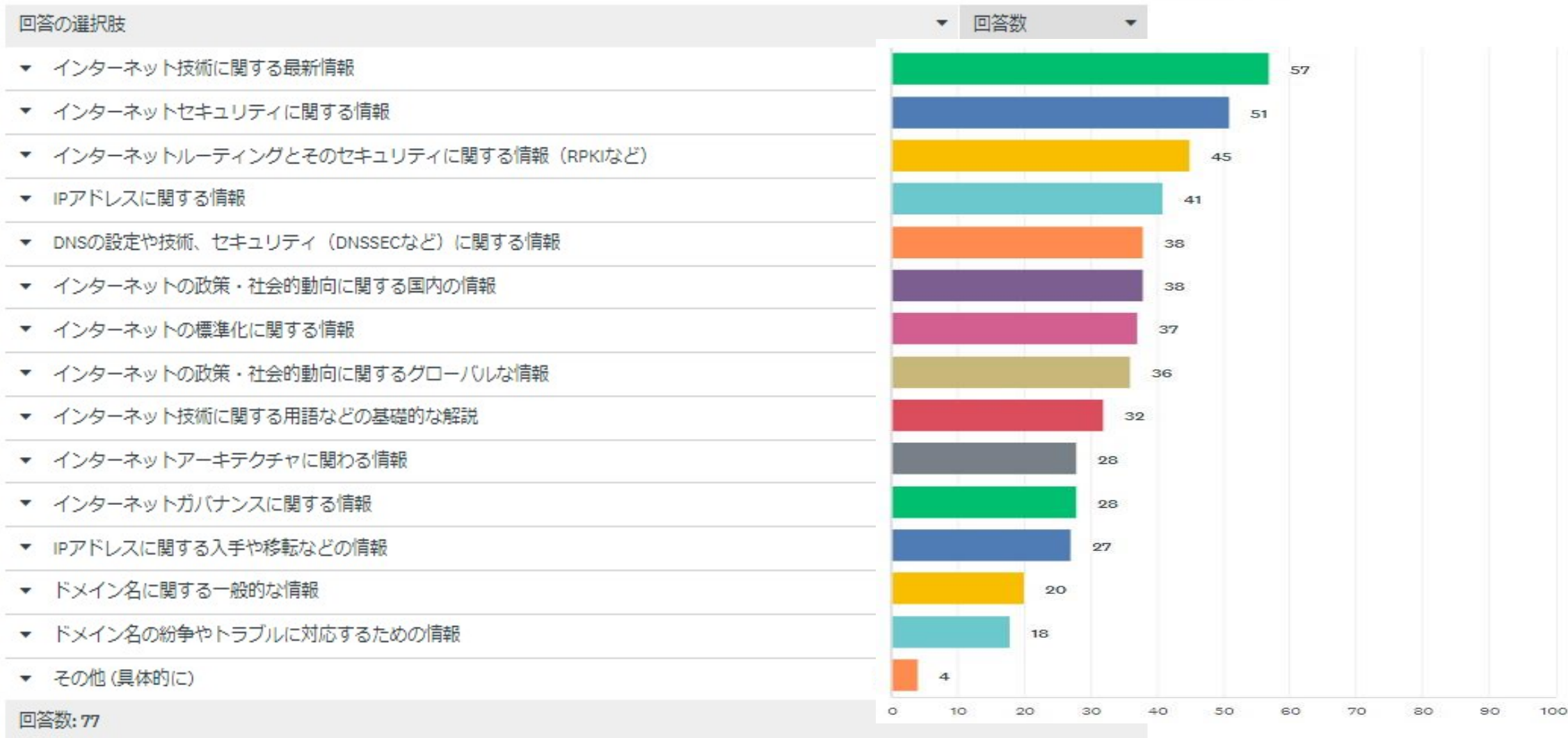
・組織内で困っていることとしては「リソース不足」「技術力不足」と答えた方が過半を占めました

Q3 : 困っていることとJPNICへの期待の有無 (2/2)



・組織内で困っていることとしては「リソース不足」「技術力不足」と答えた方が過半を占めた。JPNICに何かを期待している声については、「情報交換の機会や場」への期待や、「インターネットの性質や歴史などの基本概念の継承」「情報不足への解消」@「技術力不足」を求める声が多く見られました

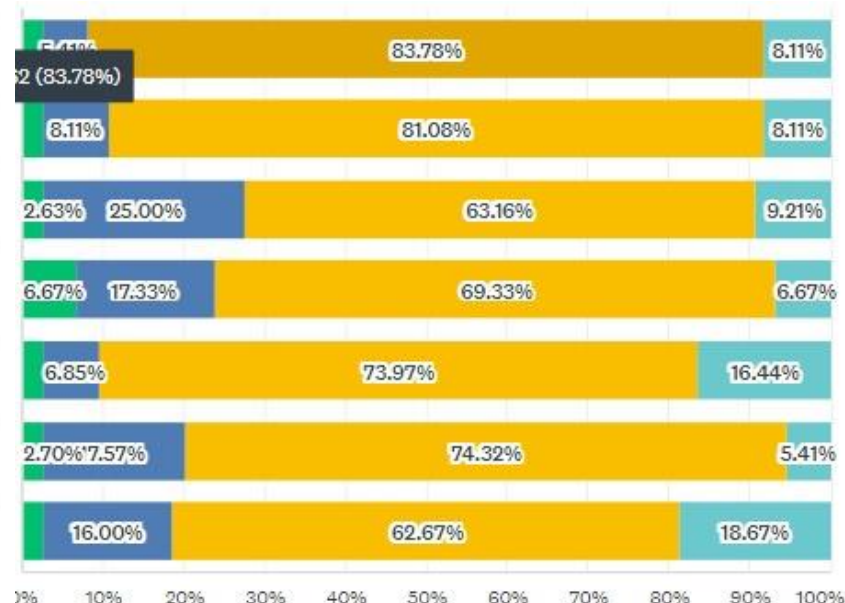
Q4:積極的に提供して欲しい教育と情報



Q5 : JPNICへの評価

	とても不満	やや不満	おおむね満足	とても満足	合計
▼ インターネットの運営へ参画する機会の提供があること	2.70% 2	5.41% 4	83.78% 62	8.11% 6	74
▼ JPNICの運営に参加できる(方針等に意見ができる)こと	2.70% 2	8.11% 6	81.08% 60	8.11% 6	74
▼ JPNIC会員でいると企業価値や、ブランドを高められること	2.63% 2	25.00% 19	63.16% 48	9.21% 7	76
▼ 会員組織の成長(ビジネス・社員)を促す実践的な場が得られること	6.67% 5	17.33% 13	69.33% 52	6.67% 5	75
▼ 中立的な立場で評価した情報を的確にいち早く得られること	2.74% 2	6.85% 5	73.97% 54	16.44% 12	73
▼ (出張含む)教育をしてもらえること	2.70% 2	17.57% 13	74.32% 55	5.41% 4	74
▼ 維持料に割引があるなど、インターネット資源をより安価に利用できること	2.67% 2	16.00% 12	62.67% 47	18.67% 14	75

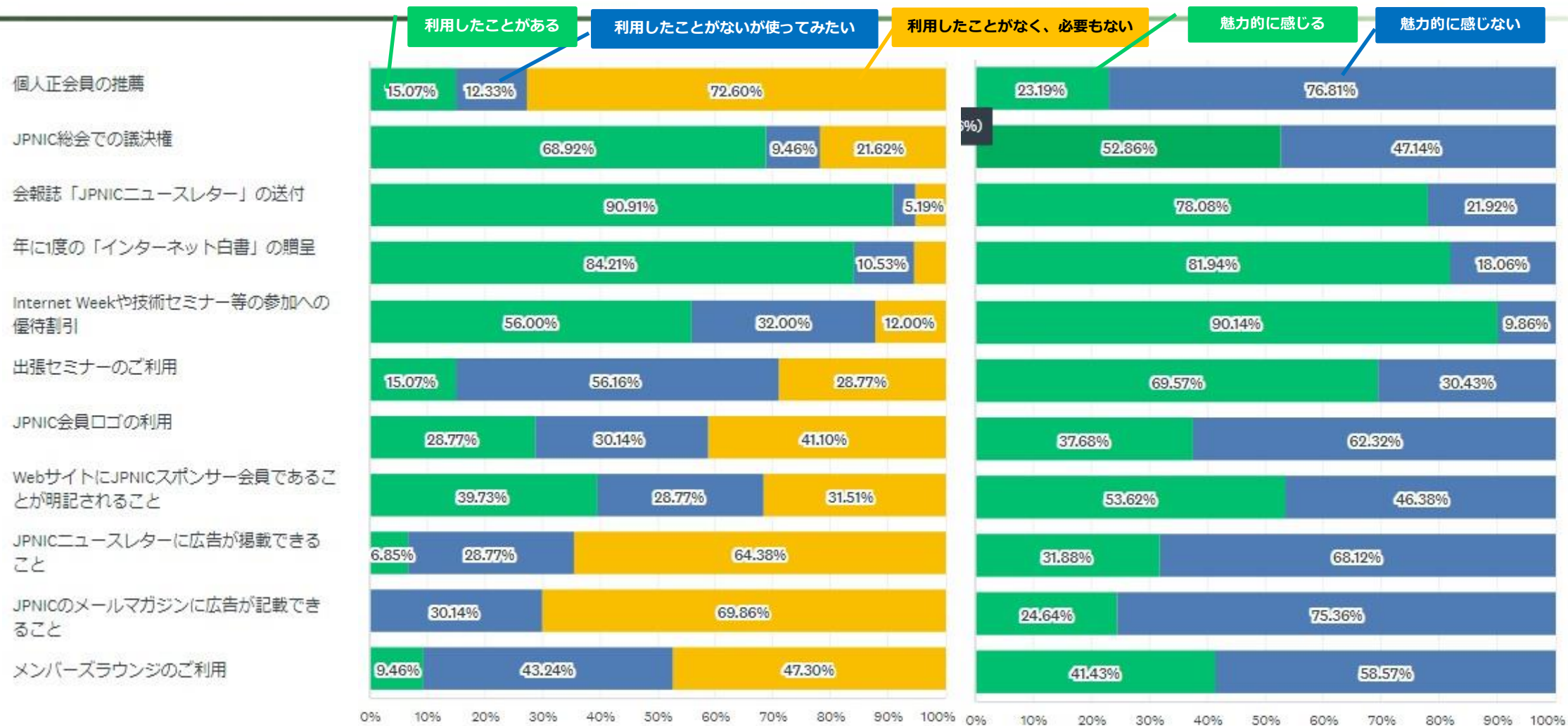
コメント (4)



■ とても不満
 ■ やや不満
 ■ おおむね満...
 ■ とても満足

- ・「中立的な立場で評価した情報を的確にいち早く得られること」「維持料に割引がある」などの点について、満足度が高い傾向が見られました
- ・また、「JPNIC自体やJPNICを通じたインターネット運営への参画」「JPNICからの情報の中立性」といった点への満足度はそれなりですが、「JPNICを通じてブランド力を高められる」「JPNICを通じて、成長を促す場が提供されている」「教育をしてもらえる」といったことへの不満がある点も見て取れました

Q6: 会員特典の利用実績と魅力的か否か

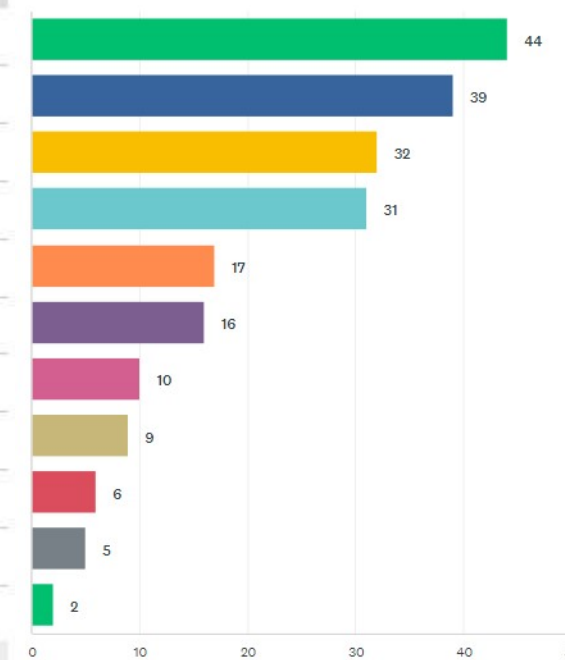


・ 利用実績と魅力的に感じるか否かには強い相関関係が見て取れます。「ニュースレターの送付」「白書の贈呈」「セミナー等への割引」「出張セミナー」といった情報提供・普及啓発については魅力を感じていただいておりますが、一方で広告の出稿といった露出についてはあまりニーズがないことがわかります

Q7：今後提供して欲しい会員特典や機能

回答の選択肢	回答数
▼ インターネットの技術に関する個別アドバイス・テクニカルサポート	65.67% 44
▼ インターネットの技術に関する検証や実験環境が利用できること	58.21% 39
▼ 自社の社員を出して研鑽が詰める場	47.76% 32
▼ 似たような立場のJPNIC会員と気軽な情報交換ができる機会や場	46.27% 31
▼ JPNIC役職員との情報交換・意見交換・交流の場	25.37% 17
▼ 各種の検討委員会などに参画して情報や知見を得られること	23.88% 16
▼ インターネットの運営方針等の検討に参画し、意見提起（募集）の機会を得ること	14.93% 10
▼ 自社のイベントや催しへのJPNIC役職員の出講	13.43% 9
▼ 自社の媒体などへのJPNIC役職員による出稿	8.96% 6
▼ Internet WeekやJPNICが開催するセミナーなどでの広告枠の提供	7.46% 5
▼ その他（具体的に）	2.99% 2

回答数: 67



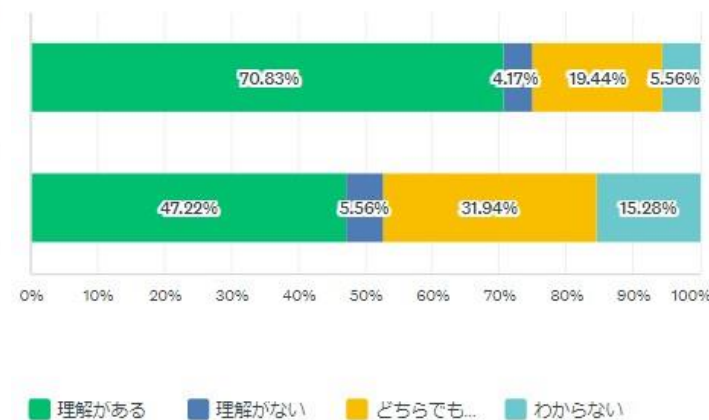
・「テクニカルサポート」「技術に関する検証や実験環境の利用の場」「研鑽が詰める場」「情報交換ができる場や機会」に対するニーズが多く、単なる交流の場ではなく、実践的な情報や場が求められていることがわかります

・Q1における各組織での事業課題や、Q4での積極的に提供してほしい情報として「技術に関する最新情報」「セキュリティに関する情報」への期待が多かったことと符合します

Q8:インターネット運営の参加意識

回答数: 24 スキップ数: 7

自組織内での	理解がある	理解がない	どちらでもない	わからない	合計
▼ 自組織がインターネットの運営に参画していることについて	70.83% 51	4.17% 3	19.44% 14	5.56% 4	72
▼ JPNICを通じたインターネット運営への参画機会について	47.22% 34	5.56% 4	31.94% 23	15.28% 11	72



- ・ 自組織がインターネットを形作っていることに理解がある組織が過半ではある一方で、JPNICを通じたインターネット運営への参画機会について理解は、十分に得られていないことがわかりました
- ・ 「JPNICの理念」に照らした場合、一つ一つの組織がインターネットを形作っているということへの啓発は引き続き続けていくことが必要であることがわかりました